カリキュラム

D. データ活用	データベースを活用したデータ処理（応用編）
データベースソフト活用	

コースのねらい	業務の効率化を目指し、データベースソフトの機能であるデータ間の関係性を利用した処理や目的にあったデータの抽出・更新処理、ユーザの入出力画面の作成方法を習得する。

講義内容		「基本項目」	「主な内容」	訓練時間（H）
	1	リレーションシップと参照整合性	（1）リレーションシップ アクセスの特徴であるリレーションシップについて学びます。 （2）参照整合性 リレーションシップを設定する時に考慮すべき「参照整合性」「フィールドの連鎖更新」「レコードの連鎖削除」について学びます （3）リレーション／参照整合性の設定 特定の条件を満たすレコードを抽出して新しいテーブルを作成するテーブル作成クエリを作成します。 （4）参照整合性の確認 データを変更、削除した後に関連付けられたテーブルのデータの確認します。	2.0
	2	クエリの活用	（1）アクションクエリ アクションクエリとは何かを学びます。 （2）更新クエリ 特定の条件に合致するレコードのフィールドをまとめて変更できる更新クエリを作成します。 （3）テーブル作成クエリ 特定の条件を満たすレコードを抽出して新しいテーブルを作成するテーブル作成クエリを作成します。 （4）削除/追加クエリ 特定の条件に合致する複数のレコードをまとめて削除、テーブルに追加できる削除／追加クエリについて学びます。	2.0
	3	フォームの活用	（1）メインフォーム/サブフォーム 関連付けられたことによるテーブル、クエリ等から作成できるメインフォームとサブフォームを作成します。 （2）コーントロールの種類 ラベル・テキストボックス・チェックボックス・コンボボックスの各コントロールについて学びます （3）メインフォーム/サブフォーム 関連付けられたことによるテーブル、クエリ等から作成できるメインフォームとサブフォームを作成します。	2.0
			合計時間	6.0